

2021年7月1日

関係者各位

AOS工法技術改定(2021年7月実施)のご案内

リノブリッジ株式会社



平素より、リノブリッジ株式会社が提供する AOS 工法へのご理解とご支援たまわりありがとうございます。小規模橋梁補修実務に従事する発注者様、コンサルタント様、建設会社様の多くから工法への支持をいただき、累計 230 橋梁以上に施工しておりますこと、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

リノブリッジは、性能上の優位性から防水材料の同系材料の指定を行っていましたが、早期補修段階から止水性能が付与される橋梁がより多くなることから、橋梁の老朽化対策に資すると考え、下記の技術改定を 2021 年 7 月 1 日より下記の通り実施させていただきます。技術変更に伴いましてお手間をおかけいたしますが、何卒よろしくお願いいたします。

記

技術改定内容

- (1) 伸縮部との一体化構造を形成できる橋面防水材に塗膜系床版防水(アスファルト加熱型)を追加する(適用早見表を参照)
- (2) 伸縮装置設置工の工程に常温型塗膜系防水材の塗布を追加する
- (3) 標準工程から誘発目地設置工を削除し、誘発目地の設置は現場条件に基づいて設置の有無を検討する

橋面防水材 適用早見表

材料種類	適用
ONEPIECE-GEL PROOF (常温型塗膜系防水材)	推奨(◎)
塗膜系床版防水(アスファルト加熱型)	適用可能(○)
シート系床版防水(すべて)	適用不可(X)
塗膜系床版防水(ゴム溶剤型、反応樹脂型)	適用不可(X)
その他の床版防水	適用不可X

※橋面防水材の表記は、防水便覧に準じます。

以上